

研修の 内容・特長

～コミュニケーションは【種類×質×選択】できている～

この研修は、実際に俳優の方が演劇ワークショップで活用している要素が採用されています。

ひとつひとつのワークに、日ごろ私たちが何気なく行っている話す/聞くを改めて考える仕掛けがあり、**仕事で使う前段階のそもそもの「コミュニケーション」が何かを見つめ直すことができます。**そして、ワークの持つ意味合いを感じつつ、楽しみながら取り組むことで、**自然と自分の持っている表現の【種類】に気付き、これなら通じるとい【質】を見定め、【選んで】使ってみたくになります。**それに没頭できる世界観が、ワークを重ねることで創られていくという点が魅力的な研修です。



演劇の世界では、試行錯誤ではミスをするのが当たり前であるという考えがあります。

そういったゆとりをもった“遊び”のある環境を意図的に作り出すことで、**実際の仕事場面ではミスが許されなかったり、現実の自分だと変えようと思ってもなかなかできないことも試すことができます。**

それにより、OJTでは得られない学びや気づきがあり、なにより受講したご本人に手ごたえを感じてもらえる内容になっています。

そして、演劇要素があるため、ご自身の人格でもって全て表現する必要はなく、その場面にいたらどうなるかを想像し、役（真似）として表現することで人に気持ちを伝える術を習得していきます。これによって受講者の負荷をやわらげられ、**どんな年代の方も負荷なく参加ができます。**

講師は研修の中で、「思っている表現がされないと伝わらない。実際にやってみて伝わらなかったら改善を繰り返していけばいい。**表現が変われば、伝わる場面も増えていき、それが楽しくなる。それが結果として、内面の変化にもつながってくる**」といったことを、研修を通して体験的に伝えていきます。

講師紹介

いけだ れご
池田 練悟 氏 ～演劇のもつ想像力や表現力が人を変える～

幼少期には赤面・吃音といった対人関係に悩みを抱えていた経験から、9歳で自ら劇団を立ち上げ、それを克服することに成功。以降、俳優として**30年以上にわたり表現・コミュニケーションと真摯に向き合い**、その経験を活かして現在は研修講師としても活躍をされている方です。また、役者生活の傍ら某家電量販店で勤めていた際には、営業活動を演劇の練習として捉えて行い、**言葉に加え、立ち振る舞いやお客様との距離感、表情・声といったあらゆる要素を駆使しながら営業トップの座にのぼりつめられたご経験**をお持ちです。そのような経験から、「演劇の想像力や表現力のもつチカラが、実生活に活かせる」（演劇即日常）の考えを確立され、それを活用した体験的な研修を通して、“劇的”に受講生を変化させることに定評がある講師です。



受講者の 声

～あつという間に感じるほどの充実感～

この研修が、マナー研修や座学研修などと一線を画しているのは【とにかく参加者が楽しんでいる】ということです。受講いただいた方の感想を一部ご紹介します。

おすすめする点・受講での学び

- * コミュニケーションが不得意と良く聞かすが、**能力じゃないことが分かった**
- * いろいろと**思考バイアス**が**いい意味で壊れました**
- * (1日の研修が) 少し**短く感じるくらい楽しかった**。
- * 研修を受けている人に合わせて、**スピードややり方をすぐに変られていて丁度良かったです**。
- * **能力よりもっと大事なことが勉強できた**。

ワークショップでは、先生が数々の表情、立ち振る舞いを使いこなし、一瞬で俳優に変わる場面もあり、**目の前で実践する様子を見ることは、何物にも代えられない経験になると確信しています。**

コミュニケーション研修にとどまらず、「想像力」「表現」「見る力」「傾聴力」の学びを求める方におすすめです。